

令和5年度 林野庁補助事業「林業機械・木質系新素材の開発・実証事業」
の事業実施者を決定

■ 本事業の趣旨

新たな国際環境の下で急激な木材需要の変化に対応可能な原木供給力の強化を図るため、林業の安全性や生産性の向上に向けた林業機械の開発・実証、新たな木材需要の創出に向けた木質系新素材の開発・実証の取組への支援を行う。

■ 事業メニュー

① 林業機械の開発・実証

伐採・集材・運材や造林作業の自動化・遠隔操作化等に向けた林業機械の開発・実証、森林内での利用可能性のある通信技術の実証、保安基準へ適合させるための林業機械の改良、高出力のホイール型林業機械の開発・改良、メーカー等と林業経営体の共同提案による先進的林業機械の事業規模での作業システムの実証、現場の実情に応じて機械等を改良する取組

② 木質系新素材の開発・実証

木材及び森林由来の再生可能資源・生分解資源による化石資源由来プラスチックの代替や温室効果ガス排出抑制等に資する新素材の実証、原料調達から市場展開までを図る地域における新素材を活用した商品開発に係る取組

林業機械・木質系新素材の開発・実証事業 実施者とテーマ

事業実施者	実証等のテーマ
松本システムエンジニアリング(株) 久大林産(株)	ラジコン式伐倒作業車の遠隔操作技術・自動走行技術の開発・実証
イワフジ工業(株) (株)中井林業	自動集材・造材マルチワークシステムの実証
(国研) 森林研究・整備機構 玄々化学工業(株)	広葉樹ファインセルローズファイバー製造・利用技術の開発